

太田様

井上文男

インディーのナチス部隊と聖杯巡る活劇映画はテレビでワクワク鑑賞しました。ハンフリー・ボガードの甘い声は大毎地下名画座で、3本立て55円洋画館を昼食代節約してモロッコ、外人部隊、カサブランカ、望郷などなど仏映画耽溺していたKOZU時代を思い出します。白黒映画の方が情緒豊かに鮮明に思い出される、カラー映画の記憶はなにかぼんやりしてます。

さて、さて、おこがまがしくも おこましくも緩消法が聖杯に、なるかならぬか その判断資格者は腰痛持ちのあなたです。指先1本で判断できます。

まずは以下URLをポイント右クリック青転検索欄にコピーの労して眉に唾を付けて乞うご高覧。

[https://webinarsystem.jp/webinar/kansyouhou\\_e?utm\\_source=ID&utm\\_medium=01](https://webinarsystem.jp/webinar/kansyouhou_e?utm_source=ID&utm_medium=01)

まさにまさに まさにまさに 夢物語、世界一の長寿国にした世界に誇る日本最先端医学もお手上げの慢性病群を指一本で治す、まさにノーベル賞ものですな。

開発者坂戸博士の経歴に医大卒なし、まったく学校で医学を勉強した経験ないそうです。だから、独学で筋肉生理学博士号を取った訳です。

若いとき仕事で体を壊し腰痛半分寝たきり状態になり、病院は勿論整体整骨院巡りしたがどこも治してくれない、自分で治すしかないと医学書を勉強、寝たきりですから時間はたっぷり。

何もできない終日ベッド暮らしは地獄、1ヶ月半の骨折寝たきり生活が実体験、退屈は死よりも恐ろしい、がそこに恐ろしくする程膨大なエネルギーがあるのでしょうか、そのエネルギーが文化を生むのですから。

必要が発明の母、生理学書に痛みの原因が筋肉の硬直、なら硬直をつぶせばよい、指が丁度よい道具となり試行錯誤、35歳遂に自分の腰痛を解消した、自分が治るなら人も治ると その方法をきちんと纏め 緩消法と名称、世にひろめることを仕事にして今日に至るです。

その治るメカニクは当然現代西洋医学の知識で納得できますが、これは人間自身体内にある自然治癒で、自然治癒は東洋医学の根本です、つまり、緩消法は東西両医学が証明する未来医学療法

と云え、ノーベル賞に値するとする所以です。これが妄言かどうかコロナ退屈のエネルギーを利用して判定をお愉しみ下さい。